

めざす児童像

自分の考えや意見をもつことができ、
友達の意見や立場を尊重することができる児童

資料名 「オレンジ色のおいしい木の实」

めあて

約束やきまりの大切さを考えることを通して、
約束やきまりを守ろうとする心情を育てる。

◎学習活動の様子

資料「オレンジ色のおいしい木の实」では、次のような内容が描かれている。小鹿のマー君は、父母から新芽である柔らかい葉を食べてはいけないといわれていた。しかし、柔らかい葉が出始めたころ、マー君は父母の言うことを守らないで葉を食べてしまう。最初は躊躇していた友達も食べてしまい、オレンジ色の木の实が一つも実っていなかった。

本時では、「だいじょうぶだよ。少しだけだよ。」と言って葉を食べてしまう小鹿のマー君と「食べてもいいのかな。」と躊躇する友達のモコちゃんの気持ちになり、役割演技を行った。また、実がなかったときのマー君は、どんなことを思ったかをワークシートに書かせた。

約束やきまりを守らない自分本位の行動で、取り返しのつかないことになってしまうことがあることを、実感させることができた。ねらいにせまる指導の工夫として、①パネルシアターを用いることで、資料の内容を分かりやすく伝えること。②話し合い活動時に「でもね」でつなぐ対話カップを使うこと。これらの工夫により、小鹿が葛藤する気持ちを考えることができた。



成果

- ・パネルシアターを用いることで、資料の内容を分かりやすく伝えることができた。
- ・「でもね」でつなぐ役割演技を行うことで、小鹿の気持ちを考えることができた。

課題

- ・資料分析をより深く行うことで、発問構成を考えること。
- ・中心発問は決まっているが、基本発問をどこにするか、吟味する必要がある。
- ・役割演技についてのふさわしい場面を選ぶこと。